

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 福井県勝山市立勝山北部中学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒911-0045

福井県勝山市荒土町伊波21-2

E-mail : [hokubutyu@edu.city.katsuyama.fukui.jp](mailto:hokubutyu@edu.city.katsuyama.fukui.jp)

Website : <http://www3.fukui-c.ed.jp/~k-hokubu/>

児童生徒数：男子 70 名 女子 59 名 合計 129 名  
 児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（地域活性）

#### 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

##### 1. はじめに

今年度からユネスコスクールの認定を受けた。本校のESDテーマは「勝山を美しく、元気に、有名に」。大人になっても自分達が住み続けたい勝山市を目指して、「北中まちづくりプロジェクト」としてESDカレンダーをもとに全校体制で取り組んでいる。自分たちの活動を全校に、家庭に、地域に、市に『発信』する活動を取り入れ、思考力・判断力を高め、つながりを大切にして自分の思いを発信できる生徒の育成を目指している。なおこれまで、県のNIE実践校であったことから、新聞を使った活動や、その他のメディアを使った発信活動も組み込んで行っている。

##### 2. 実践内容

#### 北中まちづくりプロジェクト2014 年間活動

	1 学年	2 学年	3 学年
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンアップ九頭竜川に全校生徒、保護者で参加</li> <li>・ゆめおーれ勝山フェアでクリアファイルの販売（生徒会）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山らしいおみやげを考えるためにエグエグ経営者の榎家さんから話を聞く</li> <li>・金沢遠足で勝山市の知名度調査を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめおーれフェアでグッズ販売</li> <li>・「勝山に残したいもの」をテーマに、体育大会の応援合戦を企画</li> <li>・体育大会で勝山の魅力を取り入れた競技づくり</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足で福井に行き、勝山と福井を比べ「勝山らしさ」探しを実施</li> </ul>		
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オオキンケイギクとフランスギク分布調査を実施</li> <li>・オオキンケイギクの駆除活動を校区の小学生と実施</li> <li>・実施後、校区の小学生にメッセージを送る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法恩寺山有料道路付近のオオキンケイギクの駆除活動を市と共同実施</li> </ul>	
7 ~ 8 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コカナダモの分布調査と駆除活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山をPRするための案を探り、市長に知名度調査の報告と提言</li> <li>・コカナダモの分布調査と駆除活動</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめおーれ勝山の方に来ていただいて勝山と繊維についての話を聞き、</li> </ul>		

9月	繊維をつかった使った体験活動を実施		
		・勝山みやげを考案し、エグエグの榎家さんにプレゼン	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セイタカアワダチソウの分布調査を行い、小学生と駆除活動を実施</li> <li>・セイタカアワダチソウ駆除後の環境保全活動について検討、小学生に向けて提言</li> <li>・認知症サポーター養成講座を開き、認知症について理解し、接し方を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セイタカアワダチソウの分布調査を行い、小学生と駆除活動を実施</li> <li>・駆除活動後、校区の小学生にメッセージカードを送る。</li> <li>・14歳の挑戦で、事業所にセイタカアワダチソウ駆除活動のお願いのチラシを、クリアファイルとともに配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の運動会などに役員として参加</li> <li>・校区の公民館の清掃活動</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の高齢者施設訪問を行い、地域の方とふれあう</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種駆除活動のお願いのチラシを校区の公民館に配布（生徒会）</li> <li>・これまでの環境保全活動の報告と、今後の外来種駆除活動についての提言を市役所でプレゼン（生徒会）</li> </ul>		
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かつやまPRグッズを、マツイ印刷の社長と検討。</li> <li>・かつやまPRグッズのデザインを生徒会が全校生徒に募集。</li> </ul>		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井新聞社の方から発信の仕方について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピック候補の地元出身の永下選手からふるさとの魅力を発見する。</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の祭りで、かつやまPRグッズであるエコバッグを販売、環境保全活動基金も募る。</li> </ul>		

(1)「勝山を美しく！」

勝山市は、平成19年度にアメリカのフォーブスという雑誌で「世界で9番目に美しいまち」と紹介された。その「美しいまち」勝山市をより美しくするために、今年度もいろいろな取り組みにチャレンジした。

<実践1 クリーンアップ九頭竜川に全校体制で参加！>

白山水系のもと、勝山市および校区内を縦断する九頭竜川を見つめ直すため、「クリーンアップ九頭竜川」に親子・地域住民で参加してきた。大量のゴミが回収され、分別作業を行う中で、大人が出したと思われるゴミが非常に多いことに気づいた。ゴミを減らすためにはこのような清掃活動をするだけでなく、もっと周囲の大人に意識付けを行い、発信していく必要があることを学んだ。今年度は、全校生徒と親子で約210名が参加した。また、今年度で九頭竜川清掃への参加は6回目になるが、少しずつだがゴミの量が減ってきていた。

### <実践2 オオキンケイギク、フランスギクの駆除活動>

身近に生息する外来種であるオオキンケイギクとフランスギクの駆除活動を実施し、勝山本来の美しさを取り戻そうと活動に取り組んだ。1年生は、校区の生息している場所を事前に調査し、地図にまとめた。当日は小学6年生と駆除活動を行った。活動後には、小学生にメッセージを贈るとともに、地域の方へ駆除の協力を求めるチラシを作成し、配布した。

また、2年生は法恩寺山有料道路沿いに多く生息していることを確認し、市役所の方と協力して駆除活動を実施した。これらのことは新聞記事にも取り上げていただいた。

### <実践3 コカナダモの駆除活動>

温川には在来種のバイカモが生息する。そのバイカモを守ろうとする地域の方と協力して、外来種であるコカナダモの駆除作業を夏休みの登校日を利用して1、2年生が、2回に分かれて活動に取り組んだ。大人が出すゴミにも気付きながら、よりよい環境づくりに励む必要があることを学ぶことができた。2年生は昨年度から引き続いての活動である、調査活動を行い、コカナダモの増減を確認しながら駆除活動に取り組むことができた。

### <実践4 全校奉仕活動…セイタカアワダチソウの駆除活動>

勝山市に以前から生息しているセイタカアワダチソウの駆除活動も行う必要があることを考えた。そこで事前に事前調査を行いどのあたりに分布しているのかを調べた。そして、校区の小学生に呼びかけて、当日は一緒に駆除活動に取り組んだ。また、同日には3年生が各公民館に行って、清掃活動を行い、活動後は、どうすると外来種を減らし、勝山本来の美しい自然を取り戻すことができるのか考えた。1年生はそれらをグループセッションし、付箋紙にまとめた。

2年生は生徒会中心に作成したチラシを14歳の挑戦の時に、事業所の方に渡して協力を依頼した。また、生徒会執行部は校区の公民館をまわって、駆除活動への理解と協力を依頼し、チラシを渡した。さらに、市役所の環境政策課の方や市の区長会などでこれまでの環境保全活動を報告するとともに、今後の取り組みを提言した。結果的に、多方面にも広げることができた。



↑ 生徒会中心に作成したチラシ

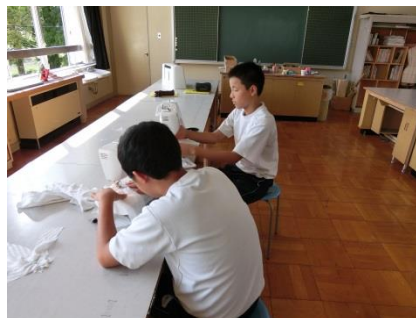
## (2)「勝山を元気に！」

### <実践1 体育大会で勝山の魅力発信！>

体育大会では、勝山の魅力を彩った箱を背負った3年生が走り回り、その中に玉を入れる競技種目を行った。地域の方も一緒に参加してくださった。また、応援合戦では、3年生が、「勝山に残したいもの」をテーマにして応援合戦を構成して会場を盛り上げた。また、地域の行事等に合唱やダンス等を披露して地域活性に努めた。さらに、地区の運動会には3年生を中心に役員として参加する姿も見られた。また、3年生全員で各公民館の清掃活動にも参加することができた。

### <実践2 14歳の挑戦で事業所に提言！>

2年生は毎年、3日間市内の事業所でキャリア教育の一環として職場体験を行っている。今年度は、ただ3日間活動するだけではなく、勝山市の事業所に自分たちが少しでも元気になれるようなものを提案し、発信することにした。例えば、笑顔になれるようなポスターを作成したり、ぞうきんをつくって渡したり工夫して考えて取り組むことができた。



### <実践3 学校祭の体験活動で勝山の魅力発見！>

勝山市は繊維のまちであるがそれが中学生には浸透していない。そこで、ふるさと勝山についてもっと知るために、ゆめおーれ勝山の方をゲストティーチャーに迎えて全校生徒を対象に活動を行うことにした。まず最初に全校生徒が体育館に集合し、勝山市繊維協会の会長様より、勝山市の繊維の歴史、現在生産されている製品などの話を聞いた。そのあと、繊維を用いた4つの体験活動をグループに分かれて行った。(事前にアンケートで希望調査をとり、割り振りしておいた)当日はゆめおーれ勝山のスタッフを中心に約10名の方が講師として本校に来てくださって、生徒に指導をしてくださった。45分ほどの体験活動であったが、どのグループも意欲的に取り組み、繊維を身近に感じる事ができた。

ゆめおーれ勝山の方に協力をいただいで実現した活動であったが、生徒は熱心に繊維会長の話を聞いて勝山の産業に興味を持つとともに、体験活動にも熱心に取り組めた。また、このような活動をもっと多くの方に体験してもらって勝山をPRできるようにしたらよいのでは?という声も聞くことができた。

## (3)「勝山を有名に！」

### <実践1 勝山をPR！>

これまで、生徒会中心にステッカー、クリアファイルを制作し、祭礼時などで販売してきた。また、地域の行事に参加するときに、我が校の取り組みを発信するために、『北中まちづくりはっぴ』も制作してPRに役立ててきた。それらに続くものとして、今年度は、エコバッグを制作する方向である。昨年度も制作で協力をしていただいたマツイ印刷の社長様と生徒会が一緒になって企画会議を行って意見を出し合って、もっと勝山をPRできるように考えた。今年度も2月の祭礼時に販売し、勝山をPRするとともに、環境保全活動基金への呼びかけや、自分たちの活動を報告するチラシも配布した。

<実践2 勝山の魅力発見・発信！～勝山市知名度調査～>

2年生は遠足で石川県金沢市に行き、班別行動を行った。そのときに、金沢の方に勝山市を知っているか、勝山市の名勝や施設などどれくらい知っているか調査を行った。すると、想像以上に知名度が低いことが判明した。なぜそのような結果になったのか考えを出し合い、今後どうすれば知名度が上がるのかも考えた。そこで、新聞記事から他の地域でまちおこしで成功している事例を探し出し、どのような可能性があるか話し合った。また、どうすると知名度が上がるのか考えを出し合ったことを、市長様に報告し、提言を行った。このことは報道でも大きく取り上げられた。

<実践3 勝山みやげづくり>

勝山に来た方が買って帰っていただけるような勝山みやげをつくろうと、勝山市でスイーツ店を経営し、その製品が全国ご当地スイーツランキングで7位に入賞されて活躍されているたまご工房エグエグの榊家様をゲストティーチャーにお招きし、勝山への思いや中学生に期待することなどを語っていただいた。

夏休みを利用して、勝山市を代表する「恐竜」に特化してスイーツを考えてくることにした。2学期が始まってすぐに自分たちが考えてきたものを掲示。そして、学校祭のときにどのアイデア商品がいいか多くの方にシールを貼っていただき投票で選んだ。選ばれた作品については実際に2年生で紙粘土や絵の具を利用してサンプルを作成。榊家様に2年生のアイデア用紙とサンプルを届けた。一つ一つ説明することで、自分たちの作品に込めたを伝えることができた。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )